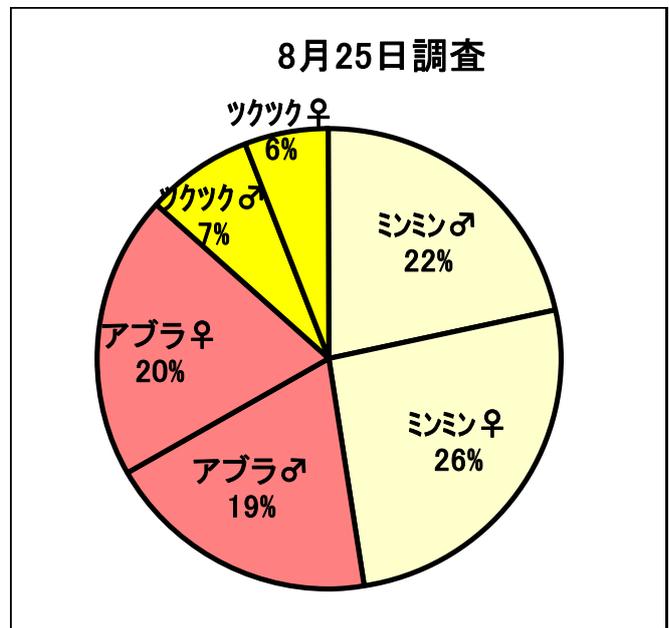
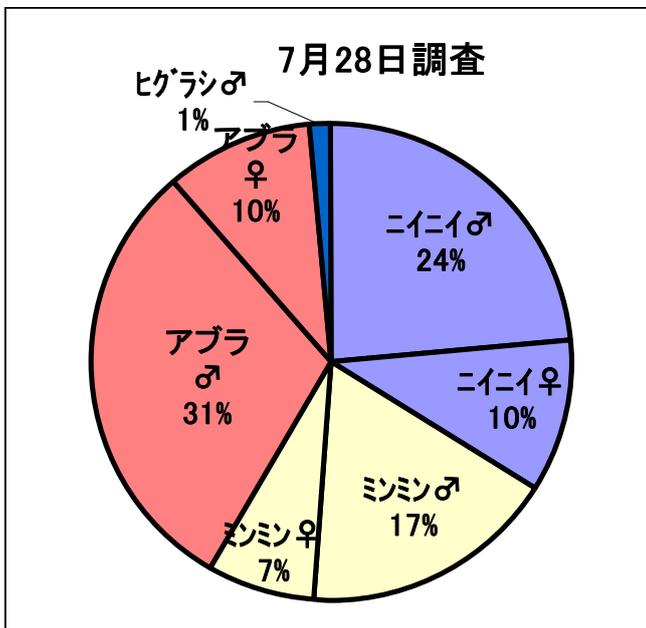


# 小石川植物園でのセミの抜け殻調査結果(2007年度)



「みんな集まれ！こどもの広場」は、自然観察指導員東京連絡会NACOTの協力を得て自然観察会を実施しています。

種類	♂	♀	7月28日	8月25日
ニイニイゼミ	♂		71	0
		♀	31	1
ミンミンゼミ	♂		51	106
		♀	22	126
アブラゼミ	♂		91	93
		♀	30	97
ヒグラシ	♂		4	0
		♀	0	0
ツクツクボウシ	♂		0	36
		♀	0	29



- 夏の間にはニイニイゼミの抜け殻が多く採取でき、少数であるがヒグラシの抜け殻も採取することができたが、夏の後半には両方の種類とも採取することができなかった。
- ニイニイゼミやヒグラシとは逆に、夏の終わりにはツクツクボウシの抜け殻が多数採取することができた。
- ミンミンゼミもアブラゼミも夏の初めにはオスの抜け殻の方が多く採取できたが、夏の終わりにはメスの抜け殻と同等か逆にメスの方が多く採取された。
- 同じフィールドで継続的に調査を続けると、セミの生態が見えてくる。また、毎年調査を続けることでセミの抜け殻の採取結果の変化からそのフィールドの環境変化も見えてくるかもしれない。